

県消防操法大会 2分団出場

53回愛知県消防操法大会が開催され、丹羽郡の代表として愛知県消防操法大会には、扶桑町・大口町が交替で出場し、扶桑町では3つの分団が順番に単独出場しており、2分団が出場しました。

ながら、家庭や仕事、プライベートの時間を犠牲に頑張った。大会当日は訓練の成果を遺憾なく発揮し、目標達成することができました。選手はもちろん、サポートし続けた多くの関係者のみなさんも大変満足でき



市川 実（指揮者） 団長、副団長を始め扶桑町消防団員の皆さん、消防署員の皆さんのご協力があり目標の大会自己ベストが出せました。応援本当に有難うございました。

渡辺雅宏（1番員） この年齢になって体験する事が出来ない、まるで学生時代の部活動の様な体験をすることが出来ました。この体験は、心に残る大事な思い出になりました。そして、指導員・要員・サポートしてくれた団員に感謝いたします。

二見剛史（2番員） 皆様の支えがあって、大会でベストを尽くす事に集中する事が出来ました。ありがとうございました。

長谷川実弘（3番員） 無事に終える事が出来たのも、ご指導、ご協力頂いた皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

小室和広（4番員） 猛暑日の大会当日、熱い思いを込めて臨んだ10分間。結果は自己ベスト更新。ありがとうございました。

後藤健太（補助員） 入団一年目ですので、大会は緊張しましたが、選手をさせて頂けた事を感謝しています。応援ありがとうございました。

澤木明人 半年間、一生懸命訓練に励んだ選手の皆さん、サポートしていただいた団員の皆さん、指導していただいた署員の皆さん、応援していただいた大勢の皆さん、そして、消防団員を陰で支えてくださる家族・職場の皆さんに感謝！感謝！感謝！

長谷川勝英 正直なところ、訓練が始まる前は『出来ればやりたくない。』というのが本音でしたが、いざ始まってみれば、あっという間でした。今年度の分団幹部としては、要員（選手）の頑張りのもとより、他の団員の協力が大変助かりました。団員及び応援していただいた皆様に感謝致します。

碓碓信彦 一月から半年間という長期に渡り、夜間・早朝と家族・仕事があるにも関わらず熱心に訓練に励んでいたみなさんの姿に…乾杯！

第53回 愛知県 扶桑町 第



7月12日（土）愛知県一宮総合運動場で第53回として扶桑町消防団第2分団が出場しました。愛知県として、近年、選抜チームによる出場市町村が多い中、第2分団の出場は、平成12年以來8年ぶりとなりました。

第2分団のみなさんは、それぞれの職業を持ちながら、1月から夜間訓練、6月からは早朝訓練を継続的に実施し、目標に掲げていた“大会で自己ベストを！”を見事に達成した分団員、指導員を始め、訓練中から応援する結果でした。



尾関 実 団員全員が、操法大会出場という目標に向かい、一つに団結して大きな成果を修めることができ、大変良かった。

栗木 靖 老体にムチうってがんばりましたが、肝心の大会当日は、軽い熱中症になってしまい残念な思いをしました。

谷田博之 大きな事故や怪我がなく無事大会が終了し、何よりでした。訓練の中で培った技術や精神を、各々が今後の消防団活動に生かせればと思います。

長谷川幸雄 今年の第2分団は、まとまりが例年以上に良く、いい雰囲気でも半年頑張ってきたと思います。

伊藤 誠 半年間本当にお疲れ様でした。無事終わりました事を、支えていただいた全ての方へ心より感謝申し上げます。

中島浩二 操法大会に向けての半年間にわたる訓練は、長いようで短かった。初めて訓練をした体力づくりで、サポートすると思っていたけど自分も体力づくりできました。後半、要員の方は訓練がきつく、サポートする方は、ただ応援するしか出来なく、本当に要員の方々ご苦労様でした。

栗木 誠 県大会で訓練の成果が出て実感が湧き、今後もこの調子で活動していきたいです。選手の皆さん本当に半年間お疲れ様でした。

太田直一 ホース巻き、声掛け etc ぐらいしか出来なかったですが、朝晩の訓練で連帯感が生まれたと思う。選手の方々お疲れ様でした！

高木達也 ホースひと巻きひと巻きに全力を込め、選手達との絆を深められたことが最高だったです。

一村一三 練習の成果が120%出せた操法だったと思います。全員一丸となり団結が強まった大会でした。署員の方の指導のおかげでした。ありがとうございます。

田中誠人 皆で一つの目標に向かって頑張ってきた訓練をして、大会で選手の最高の操法に感動しました。